

第 1 回瑞浪市情報化推進会議議事録（案）

会 議 名	第 1 回瑞浪市情報化推進会議
会議日時	令和 6 年 7 月 31 日（水） 14：00～15：00
場 所	瑞浪市役所保健センター 3 階大会議室
委員出席者 （※敬称略）	木村 秀明 （中部大学） 藺田 裕太 （おりベネットワーク株式会社） 佐野 雅哉 （一般財団法人岐阜県市町村行政情報センター） 中山 幸大 （一般社団法人瑞浪青年会議所） 小田川 洋三 （瑞浪市社会福祉協議会） 小木曾 都 （瑞浪商工会議所）
委員欠席者 （※敬称略）	柴田 阿姫 （まちづくり推進協議会） 渡邊 かれん （一般公募）
事務局 （※敬称略）	勝 康弘 （副市長） 正木 英二（みずなみ未来部長） 工藤 雄一（みずなみ未来部企画政策課長） 林 和治（みずなみ未来部企画政策課長補佐兼デジタル推進係長） 木村 彰宏（みずなみ未来部企画政策課デジタル推進係）
オブザーバー （支援業者）	三浦 裕志（株式会社日本コンサルタントグループ） 川本 直弘（株式会社日本コンサルタントグループ）
次 第	1 委嘱 2 副市長あいさつ 3 委員自己紹介 4 会長及び副会長の選出 5 諮問 6 議事 （1）瑞浪市情報化推進会議の運営について （2）瑞浪市情報化推進会議の主旨について ア 情報化推進会議の役割 イ 情報化計画策定の趣旨 ウ 情報化計画の策定手順 エ 国・県の情報化推進動向の紹介 オ 計画策定スケジュール カ 開催日程と各議題 （3）市民アンケート案、企業アンケート案について 7 その他
配布資料	資料 1－1：瑞浪市情報化推進会議規則 資料 1－2：瑞浪市情報化推進会議運営規程（案） 資料 1－3：瑞浪市情報化推進会議傍聴規程（案） 資料 2：瑞浪市情報化推進委員名簿 資料 3：第 1 回瑞浪市情報化推進会議 資料

いると私は信じていますし、皆さんもそうあるべきだと思っていると思いますので、短い時間ではありますが、思いの丈をぶつけるといふか、こうなりたいとか、この市をこうしていきたいとか、何でもいいので、ご意見を出していただいた方がいい成果が出ると思っていますので、それに向けてやっていきたいと私自身も思っていますので、ぜひこれからよろしくをお願いします。

《諮問》

勝副市長より木村会長へ諮問書を渡した。

事務局

本日、委員の過半数が出席されましたので、瑞浪市情報化推進会議規則第5条第2項の規程により、本会議が開催されますことを報告させていただきます。

《議事》

「(1) 瑞浪市情報化推進会議の運営について」

事務局

瑞浪市情報化推進会議規則に従い、瑞浪市情報化推進会議運営規定、瑞浪市情報化推進会議傍聴規程を、本日（7/31）より施行したい。

委員

（異論なしの声）

「(2) 瑞浪市情報化推進会議の主旨について」

「(ア) 情報化推進会議の役割」

事務局

瑞浪市情報化推進会議規則に従い、本会議を行う。第2条第2項のとおり、市長が委員を委嘱した。様々な情報化の知識を持って、意見してもらいたいと考えている。また、第5条第1項のとおり、第1回会議は市長名で委員を招集したが、第2回会議からは会長名で招集することとする。

情報化推進会議の役割は以下のとおり。

委員：計画案・答申内容の審議

事務局：計画案の提示、審議内容・答申内容の取りまとめ、

市長への答申

「(イ) 情報化推進計画の主旨」
事務局

平成 14 年から「瑞浪市情報化推進計画」の策定・改定を行ってきたが、地方自治体はさらなる少子化が想定され、行政サービスを維持するためには、今以上の業務効率化が求められている。国の情報化施策や自治体の現状を踏まえ、情報収集したデータを活用し、委員の方々の意見を聞きながら、「第 5 次瑞浪市情報化推進計画」策定を進めていきたい。

「(ウ) 計画策定手順」
事務局

「第 5 次瑞浪市情報化推進計画」策定手順について、2つの観点からインプットの整理を行った。①外部環境（瑞浪市以外）では、「情報通信インフラ調査」、「国・県の情報推進動向の調査」の調査を、②内部環境（瑞浪市）では、「瑞浪市の情報化推進動向の調査」、「現行計画評価」、「市民調査」、「企業調査」、「職員調査」を想定している。調査は、国・県の動向を考慮して、瑞浪市が次期計画で実施すべき施策が洗い出せるような内容を想定している。施策の検討については、「課題の抽出」、「次期施策検討」、「計画書骨子策定」、「計画書策定」を本会議で段階的に行い、計画策定に至りたいと考えている。

「(エ) 国の動向と紹介」
事務局

国、県の自治体DX（デジタルトランスフォーメーション）の計画、動向に注視しつつ、瑞浪市でも、これらの施策をどう進めていくのか、検討して情報化推進計画を策定していきたい。

「(オ) 計画策定スケジュール」

計画策定スケジュールについて事務局より説明を行った。

「(カ) 開催日程と各議題」

今後の瑞浪市情報化推進会議の開催日程と各議題について事務局より説明を行った。

委員	情報通信インフラ調査は、光回線業者、大手キャリア、5Gなどそれら全てに対して調査するのか。
事務局	主には大手通信キャリアであるドコモ、KDDI、ソフトバンクの4G、5Gサービスが対象となる。それらのサービスの提供エリアなどについて調査を行う予定にしている。
委員	情報通信インフラについて、現状はどうなっているのか。
事務局	4G通信については、市内をほぼ網羅しているが、一部山間部や電波が入りにくいところもある。5G通信については、今回の調査の中で明らかにしていきたい。
委員	キャッシュレス化について、現状はどうなっているか。
事務局	全庁的にキャッシュレス化を進めており、市民課や税務課の窓口では、手数料等の支払いに自動釣銭機も兼ねたレジを投入している。納付書での各種料金の支払いについても、PayPay等のアプリを用いた電子決済やコンビニ納付などが利用できる。
委員	調査対象はキャリア3社ということだが、楽天モバイルは対象としないのか。
事務局	楽天モバイルも市内でサービスを提供しているので、調査対象としたい。
委員	瑞浪市のYouTubeはいつから始めたのか。
事務局	令和2年度から開始している。
委員	どのような目的・方針で市のYouTubeを運営しているのか。
事務局	瑞浪市の魅力を発信するため市の公式YouTubeチャンネルを開設した。今のところ、化石や消防関係のチャンネルを開設している。それ以外には、瑞浪市のプロモーション短編映画『奇跡の化石』を製作し、YouTubeで視聴できるようになっている。

委員	瑞浪市の YouTube はどのように告知しているのか。
事務局	告知については、瑞浪市ホームページのトップページに、バナーを配置して入り口を設けている。また、瑞浪市メールマガジンや、市公式LINEによる情報配信でも、リンクなどにより、市民に広くお伝えできるようにしている。
委員	各 SNS のフォロワー数について、現在、YouTube チャンネル登録者数 882 名、インスタの方が 1,724 名ということで、市民の数からすると少なく感じる。なかなか市のホームページを見に行く人というのは少数なので、SNS のバナーを載せているということだけでは、効果的な PR になっているかどうか分からない。 フォロワー数の更なる増加について、第 5 次情報化推進計画では、具体的な対策は考えているか。
事務局	現在は、市内の情報通信インフラが整い、SNS などのツールも出揃ってきた状況にある。各種ツールの活用方法や、市民への周知など、住民サービスにつながる部分が弱いという認識はある。第 5 次情報化推進計画では、そういったツールをいかに活用し、住民の方がサービスを実感できるような施策を具体的にどう進めていくべきか検討していきたい。
委員	やはり若い人に対しては、特にインターフェースというか、入り口のところが重要で、そこをうまくやることによってみんなが見ることになる。また、高齢の方については、違う観点から入り口を作っていくかといけない。デジタル化することによって、市民がどんなメリットを享受できるか理解してもらうことが必要と思われる。
委員	これまで第 4 次情報化推進計画で主な成果は書かれているが、例えばホームページや、絆メールなど、そういった SNS の実際の利用者数や、利用率について統計的にとらえているか。
事務局	メルマガ、LINE の登録者数やホームページのアクセス数など、具体的な数については、毎年集計をとって数値化し、年度毎に推移

	をみている。
委員	キャッシュレス決済はおおよそどれくらいの割合で利用されているか。
事務局	利用者全体の2割から3割くらいの方が利用されている。
委員	人口減少、少子高齢化というところで言うと、路線バスの利用率も減ってくると思われる。ライドシェアと言われるものも、今、国の方でも推進されているが、そういった側面も移動手段の一つの情報化推進の中に、一つ検討として入れていただきたい。
委員	情報化を進めるにあたって、目指すべき姿というか、市の総合計画等との整合性というのはどう取られていかれるのか。
事務局	今年から第7次の総合計画がスタートしており、その中で2点、重点課題としてあるのが、一つが子育て支援、もう一つがシティプロモーションとなる。今年から組織改正、再編もあり、移住支援や、シティプロモーションについて新しい課ができており、情報化に関しても、整合性を取りつつ、うまくつながっていけるよう検討していきたい。
委員	例えばパルケエスパーニャという施設がVTuberとのコラボレーションをして、人気が出てきたというような事例がある。シティプロモーションということであれば、そういったことも色々と考えていけるといいかなと思う。また、どうしたら子どもや、子育てに関する情報を、うまく市民の方がキャッチできるのかというところについても検討していきたい。
「(3) 市民アンケート案、企業アンケート案について」	
事務局	市民・企業へアンケートを実施する。従来の郵送による回答に加え、今回は新たにインターネットによる回答もできるようにした。このアンケート結果を基に瑞浪市の意識調査を行い、市の情報化推進計

	画の参考としたい。
委員	市民アンケートの回答率はどれくらいか。
事務局	40～50 パーセントの回答率を想定している。
委員	アンケート回答にかかる時間はどれくらいを見込んでいるか。
事務局	回答される方にもよるが、おおむね10分程度だと思われる。
委員	回答者にポイントを付与するようなサービスはどうか。回答者にとってメリットがあると回答率が向上すると思われる。
事務局	次回以降、そういった仕組みも可能であれば試験的に取り入れていければと思う。
委員	このアンケートの対象となる主な年代はどの年齢層なのか。
事務局	対象を絞ることなく、若い年代の方から高齢の方まで広く市民の意見を聞くことを目的としている。
委員	瑞浪市がデジタル化を進める上で、この年代が重要だから、その年代を中心にアンケートを構築した方がいいのではないかという意味も含めて質問だと思う。
事務局	そういった意味では、若い年代の方にも回答しやすいようにインターネットでの回答方法を追加している。
委員	ポイントについて、回答者全員に配るのもコストがかかるので、抽選にするだけでも効果があると思われる。
委員	回答フォームについて、アンケートの所要時間について冒頭に記載してあると答えやすいのではないか。
事務局	参考とさせていただく。

《その他》

事務局

次回会議日程について、会長、副会長と日程調整を行い、10月上旬に開催を予定している。日程は開催約2週間前までに通知する。次回会議ではアンケート結果について協議を行いたい。

《閉会あいさつ》

事務局

この会議は今年度あと4回ほど計画している。皆様からまたご意見をたくさんいただき、第5次情報化推進計画を策定していきたい。本日は誠にありがとうございました。